

目指せ脱エクセル管理！データ分析の基礎と “BI ツール”体験型セミナー 事前作業のご案内

AWS オンラインセミナーにご登録いただきありがとうございます。当日、AWS の BI ツールである Amazon QuickSight を実際にお試しいただきながら、利用の流れをご体験いただきます。そのため、下記の事前準備をお願いしたいと思います。

- AWS アカウントのご準備
- 当日作業で利用する IAM ユーザーの作成
- Amazon QuickSight のセットアップ

こちらの資料ではこれらの作業の流れについて紹介いたします。全体で 30 分から 1 時間ほどのお時間が必要な作業となりますので、予めご準備いただければ幸いです。

AWS アカウントの作成手順

今回のイベントでは実際に AWS のサービスに触っていただき、分析の流れを体験していただきます。AWS アカウントをお持ちでないお客様は、[AWS Hands-on for Beginners はじめの一步編](#) の 1 つ目、2 つ目の動画をご覧ください、AWS アカウントを作成してください。すでに AWS アカウントをお持ちの方は、この手順をスキップしていただいて構いません。

IAM ユーザーの作成手順

AWS アカウント取得後、AWS サービスを利用するためのユーザー（IAM ユーザー）を作成する必要があります。[AWS Hands-on for Beginners はじめの一步編](#) の 3 つ目、4 つ目の動画にて IAM ユーザーの作成手順を紹介しておりますので、「管理者用の IAM ユーザー」を作成していただければと思います。

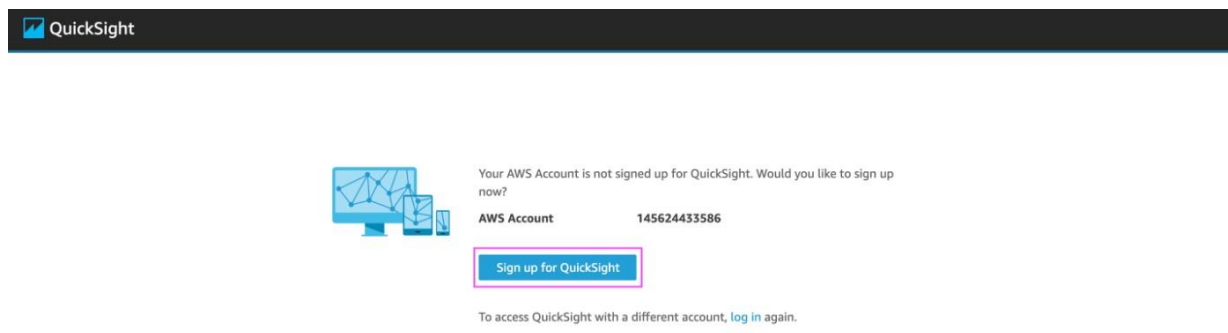
Amazon QuickSight のセットアップ手順

続いて、BI ツールである Amazon QuickSight のセットアップ手順を紹介いたします。初めて Amazon QuickSight をご利用いただくお客様については [こちらの料金ページ](#) にも記載がありますが、30 日間のトライアル期間の間、作成者の方 4 名まで無料でご利用いただけます。

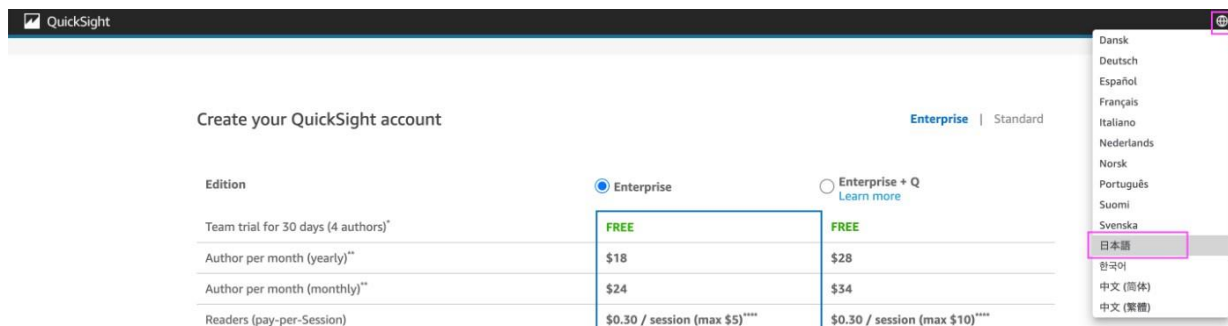
[AWS マネジメントコンソール](#) にアクセスしていただき、画面上部の検索窓に「QuickSight」と入力してください。その後、下部に表示される QuickSight のリンクをクリックしてください。



QuickSight のご利用が初めての場合は下記のような画面が表示されますので、「Sign up for QuickSight」をクリックしてください。



QuickSight のアカウントを作成する画面に遷移するのですが、先に言語設定を変更します。右上のアイコンをクリックして頂き、その後「日本語」を選択してください。



その後、Edition として Enterprise (左側) が選ばれている状態のまま、下部にスクロールしていただき「続行」をクリックしてください。

Active Directory への接続	✓	✓
Active Directory グループの使用 ^{***}	✓	✓
E メールレポートの送信	✓	✓
埋め込みの QuickSight	✓	✓
容量ベースの料金	✓	✓
サポートされているリージョン	詳細はこちら	詳細はこちら

^{*} トライアルの有効期限が切れると、無料版の作成者は、自動的に月額サブスクリプションに切り替わります。

^{**} 追加の作成者ごとに、10GB の SPICE 容量が割り当てられます。

^{***} Active Directory グループは、Active Directory に接続されているアカウントで使用できます

^{****} 30 分間のセッション。各リーダーの合計料金は、1 か月あたり \$5 に制限されます。条件が適用されます。

続行

続いて、QuickSight アカウントの細かい設定をする画面になります。今回はリージョン、アカウント名、通知の E メールアドレスの 3 箇所を修正します。まず、「リージョンを選択」と書かれた下部のプルダウンをクリックしてください。

QuickSight
⊞

QuickSight アカウントの作成

エンタープライズ版

認証方法

IAM フェデレーティッド ID と QuickSight で管理されたユーザーを使用する
シングルサインオン (SAML または OpenID Connect)、AWS IAM 認証情報、または QuickSight 認証情報による認証

IAM フェデレーティッド ID のみを使用する
シングルサインオン (SAML または OpenID Connect) または AWS IAM 認証情報による認証

Active Directory の使用
Active Directory 認証情報による認証

QuickSight リージョン

リージョンを選択 ?

US East (N. Virginia) ▼

アカウント情報

QuickSight アカウント名
サインインするには、この情報が必要です ?

QuickSight の固有アカウント名を入力してください

通知の E メールアドレス
QuickSight で重要な通知を送信するには

アカウント通知用の E メールアドレスを入力してください

[戻る](#)

AWS のリージョン一覧が表示されるので、この中から「Asia Pacific(Tokyo)」を選択してください。

QuickSight リージョン

リージョンを選択

US East (N. Virginia) ▼

- US East (N. Virginia)
- US East (Ohio)
- US West (Oregon)
- EU (Frankfurt)
- EU (Ireland)
- EU (London)
- Asia Pacific (Singapore)
- Asia Pacific (Sydney)
- Asia Pacific (Tokyo)
- Asia Pacific (Seoul)
- South America (Sao Paulo)
- Canada (Central)
- Asia Pacific (Mumbai)

既存の AWS データとユーザーを QuickSight で使用できるようにします。 [詳細はこちら](#)

「Asia Pacific(Tokyo)」を選択した際に、下記のポップアップが表示されますが、そのまま「OK」をクリックしてください。

エンタープライズ版 戻る

認証方法

- IAM フェデレーティッド ID シングルサインオン (SAML)
- IAM フェデレーティッド ID シングルサインオン (SAML)
- Active Directory の使用
Active Directory 認証情報に

これを変更すると、一部セクションが変更される場合があります

この変更を行うと、サインアップフローの適切なセクションが調整されます。送信した情報が破棄される場合があります。

QuickSight リージョン

続いて「QuickSight アカウント名」と「通知の E メールアドレス」の欄を入力してください。アカウント名は世界中でユニークなアカウント名を英数字とハイフンで決めていただく必要があります。E メールアドレスは通知が受け取れるメールアドレスを設定してください。

QuickSight リージョン

リージョンを選択

Asia Pacific (Tokyo) ▼

アカウント情報

QuickSight アカウント名
サインインするには、この情報が必要です

quicksight-kanazawa-20220812

通知の E メールアドレス
QuickSight で重要な通知を送信するには

keikanaz@amazon.co.jp

以上で、今回設定が必要な項目は全て設定できましたので、下部にスクロールしていただき、「完了」ボタンをクリックしてください。

- Amazon IoT Analytics
- AWS IoT Analytics
- Amazon OpenSearch Service
- Amazon SageMaker
- Amazon Timestream

完了

少しお待ちいただくとセットアップが完了した旨、表示されます。「Amazon QuickSight に移動する」をクリックして、QuickSight のトップページに遷移できれば準備完了です。



下記の画面が表示されましたら、事前準備完了となります。

